

議会だより

9月定例会
No.144

令和7年(2025)11月7日発行



続く物価高騰に支援……………	2
令和6年度決算はどうだった……………	4
町政を問う(5議員)……………	8

※表紙の説明は12ページ

金山町議会の最新情報はこちら▶

山形県金山町議会

検索

編集 ◎ 議会広報常任委員会



悠久の四季めぐる金山町

9月定例会

町民応援商品券配布

～ 1人5千円 燃料・物価の高騰に支援 ～

9月定例会が4日から11日まで開催され、専決処分・補正予算・令和6年度決算の認定等すべての議案を全員賛成で可決した。続く物価高騰に対し、国から臨時交付金が交付され、町は商品券の配布に2,580万円を追加補正した。

9月議会定例会提出議案

(各会計決算の認定はP4～7参照) ※全議案全員賛成で可決

議案番号	議 案 名
議第62号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認について 補正額:880万円 補正後予算額:51億3,805万円
議第69号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第4号) 補正額:2億3,645万円 補正後予算額:53億7,270万円
議第70号	令和7年度金山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 補正額:10万7千円 補正後予算額:2億3,034万円
議第71号	令和7年度金山町介護保険特別会計補正予算(第2号) 補正額:4,071万2千円 補正後予算額:8億1,108万2千円
議第72号	令和7年度金山町下水道事業会計補正予算(第2号) 補正額:935万3千円 補正後予算額:3億5,775万8千円
議第73号	金山町家庭的保育事業等又は乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について 児童福祉法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業を行うための認可基準を定めるもの
議第74号	金山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 改正地方公務員育児休業法の施行に伴い、職員の仕事と育児の両立支援を目的に条例に委任する事項を定めるもの
議第75号	金山町道路条例の一部を改正する条例の制定について 国が定める道路構造令の一部改正に伴い、自転車通行帯及び自転車道の設置要件を定めるもの
議第76号	金山町固定資産評価審査委員会委員の選任について 金山町固定資産評価審査委員に、新たに 阿部 洋一 氏(上台)を選任するもの
議第77号	金山町教育委員会委員の任命について 金山町教育委員会委員に、引き続き 樋渡 郁子 氏(上台)を任命するもの
議第78号	人権擁護委員の候補者の推薦について 人権擁護委員の候補者に、新たに 星川 恵子 氏(漆野)を推薦するもの
議第79号	最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について 最上広域市町村圏事務組合に新たに「総合調整監」を置くことができるようにするもの
議第80号	金山町役場庁舎非常用電源設備設置工事(建築工事)変更請負契約の締結について 工事において、地下タンクの防水処理が必要なことから、変更契約を締結するもの
議第81号	金山町役場庁舎非常用電源設備設置工事(電気設備工事)変更請負契約の締結について 工事において、アースをより深い位置から取る必要があることから、変更契約を締結するもの
議第82号	金山町教育長の任命について 金山町教育長に 新たに 鈴木 英樹 氏(七日町)を任命するもの
議第83号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第5号) 補正額:2,690万3千円 補正後予算額:53億9,960万3千円
議第84号	小型動力ポンプ積載車の取得について 消防団所有の小型動力ポンプ積載車1台を(株)長谷川ポンプ製作所から973万9,420円で取得するもの
議第85号	軽四輪駆動小型動力ポンプ積載車の取得について 消防団所有の軽四輪駆動小型動力ポンプ積載車2台を(株)長谷川ポンプ製作所から1,184万8,720円で取得するもの

議案への質疑応答要旨

〔議第69号 令和7年度金山町一般会計補正予算(第4号)〕

五十嵐優一議員 新庄金山道路の整備に必要な上台地区残土ストックヤード用地の詳細は。

環境整備課長 場所は国道13号線、上台の坂を上り切った右手の高速道路工事現場奥にある休耕田が広がっている所。面積は1万1197㎡で地目は、田・山林・原野。所有者は4名となっている。

大場洋介議員 非常用電源装置設置工事の追加補正の内容は。

総務課長 当初予算から建築工事で約178万円、電気設備で約1千万円の請け差が出た。当初消防から指摘がなかった燃料タンク防水工事や地中など見えない部分は、標準的なもので想定するので工事中変更が生じることがある。

星川智子議員 交流サロンぽすと空調機更新工事は、ランニングコーストも掛かりましする全館空調よりも複数台エアコンを設置する方がよいのでは。

産業課長 ぽすと1階の空調に不具合があり、23年経過していることから修繕は不可能なため更新する考え。コストの比較という部分は欠けていたが、既存の施設に既存の空調設備を備え変化がないようにとの考えである。

中村忠行議員 エアコンの一般用と業務用の電気代の比較など最終的な判断の理由は。

産業課長 延べ床面積は124畳。既存のエアコンをそのまま更新する考えで、コスト計算は特にしていない。費用対効果など改めて検討し、事業着手まで時間をかけ対応する。

寒河江宏一議員 ホットハウスカムの実施設計に入るが、チップボイラーに関しての方向性は。

産業課長 議会、有屋地域の皆様から様々な要望を頂いており、チップボイラーが実際導入できるかどうかも含めて引き続き検討していく。概ね実施設計がまとまった段階で改めて議会に説明したい。

沼澤道也議員 台湾での海外誘客プロモーションの目的は。

産業課長 町が作った台湾向けガイドブック「金山微本」をきっかけに、台湾にインバウンドの糸口を見つけるための企画である。観光担当職員と地域おこし協力隊が台湾を訪れ、関係性を強め、金山町に誘客を図りたい。



台湾向けガイドブック「金山微本」

須藤典夫議員 羽黒山では入山者に協力金をお願いし、管理・保全をする体制を作った。金山町も協力金制度を考えては。

産業課長 排泄物処理の協力金はあるが、入山への協力金は全く想定して

なかった。神室山と同等の山々がある全国各地の協力金への対応の仕方を勉強し、今後関係者と検討したい。

宮林聡志議員 町税の増額補正は米価の高騰が一番の要因だと思うが今後の見方は。

町民税務課長 今回は、昨年度の米価の高騰を見込んでの補正となる。今年度については、急激な米価の下落は想定していないが、今後の米価の動向を見ながら適切に対応したい。

〔議第79号 最上広域市町村圏事務組合規約の一部変更について〕

寒河江宏一議員 総合調整官を置かない議論などはなされたのか。また、各町村の負担が増えることになるのでは。

町長 総合調整官の任期を2年と規定しており、人事はその時点で判断せざるをえない。その都度広域議会に人事案を提案したうえで適切な人材を登用することになる。当面は調整官と事務局長を兼務するため人件費が増えることはない。

令和6年度の予算（一般会計、5特別会計）がどのように使われ、どのような効果があったか審議するため、決算特別委員会が設置された。委員長に星川智子委員、副委員長に大場洋介委員を互選し、丹洋一代表監査委員から各会計決算審査後の意見、留意事項等の説明を受け、委員長を除く9名の委員が質疑を行った。全会計の決算については、全員賛成で認定された。



星川 智子 決算特別委員長

令和6年度各会計決算提出議案

～全員賛成で認定される～

各会計決算状況

議案番号	会 計 名	歳入決算額	歳出決算額
議第63号	一般会計予算	56億3,711万円	53億204万円
議第64号	国民健康保険特別会計（直診勘定）	2億2,542万円	2億1,090万円
議第65号	介護保険特別会計	7億6,172万円	6億8,828万円
議第66号	後期高齢者医療特別会計	8,066万円	8,018万円
議第67号	水道事業会計（収益的収支）	2億182万円	1億8,912万円
	水道事業会計（資本的収支）	1億400万円	1億6,109万円
議第68号	下水道事業会計（収益的収支）	2億1,890万円	2億879万円
	下水道事業会計（資本的収支）	1億574万円	1億5,507万円

決算審査意見



丹 洋一
代表監査委員

一般会計並びに5特別会計の歳入歳出決算書、実質収支に関する調査は、法令に準拠して作成されており、決算計数は、関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りなく適正と認めた。

主な財政指標では、経常収支比率は92.8%となり、前年度と比較し2.2%上昇している。要因としては、人件費、管理料やDX推進等のシステム使用料による物件費の上昇によるものであり、令和7年度においても物価の高騰は続いているため、令和7年度の決算にも影響すると予想される。

実質公債費比率は9.2%、将来負担比率は算定されておらず、財政健全化比率について問題はない。また、財政運営基金残高は約2千8百万円増加し、全会計で約1億1千万円以上増加している。常に長期的に標準財政規模の5%以上の額を堅持していただきたい。

防災減災対応と福祉行政サービスの安定を継続

令和6年度
決算



デジタル利用研修会

町民が
活用しやすい
環境整備を

宮林 聡志 委員

問 防災情報・行政情報をより身近にし、タブレットを広く多く普及させるには。

答 総務課長 高齢者や非課税世帯には、研修会を兼ねて配布した。またデジタルサポーターより、高齢者世帯を訪問し、タブレット操作の戸別指導を実施した。今後は、スマートフォン操作での詐欺被害防止対策を検討している。

その他の質問
●地区振興事業 ●ふるさと納税事業
●有害鳥獣対策事業 ●小中学校施設整備事業

より優しさあふれる
健康と福祉の
町づくりを

五十嵐 優一 委員

問 町社会福祉協議会事業の成果と課題は。

答 健康福祉課長 100周年に関する5つの事業を実施。100歳体操をアレンジしたDVDを配布した。これまでのフードバンク事業や子ども食堂事業の内容を充実。福祉支援のPR動画作成を考えている。

その他の質問
●水道事業会計と未収金対策
●地区交付金 ●介護保険特別会計



100歳体操

森林環境譲与税の
使途や効果が十分に
伝わる情報発信を

大場 洋介 委員

問 町の環境や林業従事者、有害鳥獣対策の観点から、譲与税の配分は妥当と判断するのか。国や県への要望への見解は。

答 産業課長 森林面積が大きく実態に即した配分とは言い難い側面がある。国には、配分基準の見直しや柔軟な制度の運用を。県にも森林整備士などの技術的支援の拡充を求めている。

その他の質問
●防災情報システム管理 ●移住定住促進事業
●ふるさと寄附返礼品戦略
●総合防災訓練参加率向上



高性能林業機械



神室登山道整備

問 交流推進事業の一環として、神室山や竜馬山周遊道路の整備ができないのか。

答 産業課長 神室山は登山愛好家から評判が良い。県の協力を得て、ツアーも企画。竜馬山については、整備が可能か検討したい。

その他の質問

- デマンドハイヤー事業と民間業者との共存
- 高齢者肺炎球菌ワクチン
- 農業推進職の設置

神室登山道を含め
竜馬山の周遊道路
整備の検討を

…… 矢口政一 委員



生化学分析装置

問 新たに導入した診療所の生化学分析装置を利用し、当日検査結果での受診は可能か。

答 診療所事務長 比較的簡易な検査が可能で30分で結果が出る。緊急性がない場合や定期的な受診の場合は基本的に外注している。診療所経営も考慮し、安心な検査方法に努める。

その他の質問

- 認定農業者への支援と農業政策
- 町税の物納の活用
- 生涯学習推進大会の位置づけ

患者に安心してもらい
より多くの
診療所利用を

…… 中村忠行 委員



ビーナッツ新商品開発

問 平均的に成績を上げるには、親も関わる家庭教育が重要。学校現場での方向性は。

答 教育長 学力向上のためには家庭でも努力が必要。家庭や地域にとって、学びの環境を地域の理解と一緒に取り組む事が重要。

その他の質問

- 有害鳥獣対策の現状
- 部活動の地域移行
- 金山小学校150周年記念事業

学ぶ楽しさ・
知る楽しさを続け
学力向上を

…… 沼澤道也 委員



問 グリーンバレー神室施設の調査を踏まえ、指定管理者選定委員会に議会から委員を選任し、選定時の参画は可能か。

答 町長 規模が大きいのので、選定委員の人数や構成を慎重に判断する必要がある。現時点での明確な回答は難しい。

その他の質問

- 100周年記念事業の総括
- ドクターヘリ要請状況と体制
- 議会議務局体制の強化

神室一帯の
サウンディング調査の
成果は

…… 須藤典夫 委員



ほ場整備説明会

問 農地集積協力金の廃止に伴い、今後のほ場整備との関連性は。

答 産業課長補佐 集積協力金廃止後の新しい制度の内容を含め、情報収集を行い、今後のほ場整備を検討する。

その他の質問

- 金山町猟友会活動支援
- 労働対策事業
- 地域における雪対策の推進

中山間地域の
ほ場整備を
計画的に検討を

…… 栗田保則 委員



街なか公営住宅

問 街なか公営住宅の維持管理を適正に実施し、早く買取りへの推進を検討できないか。

答 町長 国の法令を確認し、柔軟にできる範囲であれば、安く取得できる方法を検討し、売却推進につなげる。

その他の質問

- 町所有の美術品管理
- 旧荘内銀行購入の目的と使途の明確化
- 監査委員の報酬
- グリーンバレー神室の全体的経費圧縮
- 下水道と集落排水の接続

公営住宅法の
仕組みを再確認し
売却方法の検討を

…… 寒河江宏一 委員

町政を質す

ただ

中村 忠行 議員

- ① 危険空き家への対応を
- ② 今後の公共施設のあり方は

大場 洋介 議員

- ① 頻発する災害等への対応強化は
- ② 観光戦略と地方創生は

須藤 典夫 議員

- ① 町単独補助の考えは
- ② 情報収集の強化

沼澤 道也 議員

- ① 慰霊祭には多数の参加を
- ② これからの町平和教育の考え方は

五十嵐 優一 議員

- ① 異常気象時の対策は
- ② 災害時の被災者対策は

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは報告や説明を求めるなどの政策議論の場である。
町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。



なかむら ただゆき
中村 忠行 議員

問 公共施設計画の再編を

答 利活用状況を考慮し再検討

ない施設は維持管理経費を考慮し解体・処分も必要となる。

東北芸工大に業務委託し、役場周辺の利用が少ない公共施設や空き家を現地調査や関係者へのヒアリングを実施し、より望ましい形での利活用案を提案いただき、地域振興施設も含めた各施設が有効に機能し十分に利用されるよう取組みたい。



危険空き家への対応を

中村議員 空き家対策として適宜行政代執行を進める考えは。

環境整備課長 本来所有者が適正管理すべき事業と考える。

まずは所有者等への助言・指導を実施し危険空き家等が周辺住民の生命若しくは身体又は財産に重大な損害を及ぼす危険な状態が発生した場合や発生しそうな場合は、必要に応じた応急措置や特定空き家の該当基準を考慮し行政代執行も視野に入れながら空き家対策を進めたい。

今後の公共施設のあり方は

中村議員 公共施設の利活用再編と新規施設計画の方向性は。

総合政策課長 今後活用が見込まれ



すとう のりお
須藤 典夫 議員

問 農業者への支援強化策は

答 長期的視点で「守りを固める」

産業課長 政府は米生産拡大に大きく方針を転換することになり、27年度の新たなコメ政策に向け、具体的な助成金制度や米生産拡大に向けた方針が示されるものと思われる。町の対応としては情報収集及び集荷事業者との調整や農業者への周知等に努め、引き続き着実な支援を進めていく。

町単独補助の考えは

須藤議員 5年間の計画が達成された認定農業者には町単独の上乗せをし、5割補助となる積極的な支援策を。

産業課長 経営改善計画の目標達成者への国県補助金に対しての高上げ補助について、大型の農業機械購入に伴う補助率が2分の1と優位性もあるため、他自治体の状況把握に努め、少し時間をいただき、目標達成者への町の高上げ補助について検討していきたい。

情報収集の強化

須藤議員 新たな農業の取組（スマート農業、田んぼダム等）も多岐にわたっている。販売形態についても農協出荷に止まらず、産直、海外販売等と多様化しているが対応を。



頻発する災害等への対応強化は

大場議員 身近な災害リスクを再確認し、現状での防災・減災対策への課題や対応は。

町長 町の特性・脆弱性を踏まえ必要な施策が課題。高齢者や障がい者など支援が必要な方を把握し、安全に避難できるように個別避難計画の策定を考えている。

大場議員 災害発生の可能性に関して、複合災害のリスク回避策は。

町民税務課長 今年度新たに19河川の浸水想定区域図が追加され、ハザードマップの更新作業を実施している。大雨と地震などの状況判断で、適切な避難誘導を行う必要がある。

大場議員 災害時に被災地で使えるトイレやキッチンカーなどの災害対応車両登録制度への対応は。



町民税務課長 被災地のニーズ対応が可能であるため、指定避難所等の機能を補完し、事前に必要な車両をリストアップする。

観光戦略と地方創生は

大場議員 町中心部に災害時の救援や観光振興の拠点としての施設整備の見解は。

町長 子ども達の放課後居場所機能や避難所機能等を持つ、地域振興施設の整備を計画している。



ぬまざわ みちや
沼澤 道也 議員

問 平和教育のこれから

答 本年から慰霊祭は町主催で実施

慰霊祭には多数の参加を
沼澤議員 今年は終戦80年の年でマスコミも特集を組んでいる。世界の動きや国内の動きを見ていると戦争の心配がされる。町慰霊祭も遺族会主催で実施しているが、本年はどうするのか。

健康福祉課長 昨年までは宝圓寺を会場に遺族会主催で実施してきたが、本年より町主催（本年は遺族会と合同）で、改善センターを会場に実施し、平和について考える場としている。出席予定範囲も広く呼び掛けていく予定でいる。

これからの町平和教育の考え方は

沼澤議員 今後の町の平和教育・運動をどう考えているのか。

町長 次世代に対し戦争の実情と核



町戦没者慰霊祭



いがらし ゆういち
五十嵐 優一 議員

問 異常気象への対応は

答 関係機関と連携し取り組む

異常気象時の対策は

五十嵐議員 高温に対する支援は。

健康福祉課長 高齢者等エアコン設置助成事業を実施し、現時点で5件25万円を助成。

町長 金山川と同様、水道水の水温も高くなる。塩素濃度を定期的に確認し、適正な水質維持に努めている。神室ダムが渇水となった場合は、自己水源を活用し、有屋・中田・西郷・東郷地域に供給する。



五十嵐議員 渇水等に対する支援は。

産業課長 7月25日に町渇水対策本部を設置し、緊急支援事業は、9月3日現在、申請者は32件。実績確定後に総括を行い、渇水対策等の参考とする。異常気象への対応をJA、県農業関係機関と連携し、技術的かつ補助金等の支援を重点的に検討する。

災害時の被災者対策は

五十嵐議員 災害ボランティアセンターへの支援は。

健康福祉課長 「設置・運営マニュアル」に沿って対応するが、支援体制は再度検討が必要。班長的な役割は、町の地域や地形、人材等を把握する必要があり、平時からボランティア経験のある町民で構成する協力的体制の構築を進める。マニュアルに基づいた設置訓練を行い、平時からの具体的な準備に取り組む。

今後、貸工場をどうする

総務文教常任委員会

問 現在、貸工場から貸付料をいただいているが、今後譲渡など考えているのか。

答 20年間貸付契約をしているが、その後については検討されていない。

問 今後、行政事務取扱者に対する地区交付金の減少があるのか。

答 各事務取扱者の中で、兼務の方がいっても地区交付金制度はこれまで通り維持する方向で検討したい。

問 グローバルミートングを生徒全員へ拡大できないか。

答 児童・生徒全員を対象に考えていたが、時期的な問題などありできなかった。今後、先生方含め改めて本来の趣旨に沿って検討する。



第2貸工場

つや姫の栽培エリア拡大の方向性は

産業厚生常任委員会

問 米の概算金の高騰により、来年度作付増産に向けて栽培エリアの拡大への方向性は。

答 つや姫の栽培適地は、標高や気温を考慮してエリアを限定している。他県では制限なく栽培している状況もあり、生産量拡大やエリア拡充を県に要望したい。



問 異常気象への対応は

答 関係機関と連携し取り組む

五十嵐議員 渇水等に対する支援は。

産業課長 7月25日に町渇水対策本部を設置し、緊急支援事業は、9月3日現在、申請者は32件。実績確定後に総括を行い、渇水対策等の参考とする。異常気象への対応をJA、県農業関係機関と連携し、技術的かつ補助金等の支援を重点的に検討する。

災害時の被災者対策は

五十嵐議員 災害ボランティアセンターへの支援は。

健康福祉課長 「設置・運営マニュアル」に沿って対応するが、支援体制は再度検討が必要。班長的な役割は、町の地域や地形、人材等を把握する必要があり、平時からボランティア経験のある町民で構成する協力的体制の構築を進める。マニュアルに基づいた設置訓練を行い、平時からの具体的な準備に取り組む。

問 美杉ちゃん券の廃止に伴い、代替の地域商品券の検討は。

答 発行に関わる運営やコスト面で困難、商品券の利用先の偏りが課題。町単独の電子商品券を検討したが、発行コストの面から断念した。

問 9月からの改正鳥獣保護管理法施行に伴い、住宅地での緊急銃猟マニュアルの作成や体制づくりは。

答 法施行はあったが、各種準備ができていない状況。町中での発砲は、物損・人身事故のリスクを踏まえ検討する。

問 高齢者の一人暮らしの方が、町外への専門的な医療を受けるための交通手段の今後は。

答 福祉有償連送というサービスがある。町のデマンドハイヤーを町外まで対応できるか提案する。



「かねやま産直ねっと」を通しての産直活動



かねやま産直ねっと
代表

かきざき きいち
柿崎 喜一 さん

皆さん「かねやま産直ねっと」という名前をお聞きになったことがあるでしょうか。金山町で産直活動を行っている団体です。金山町をはじめ、新庄市・山形市など県内一円で金山町の農産物の販売を行っています。その中でも毎日行っているのがマルコの蔵の「ちょうほう屋」です。ここは町内で活動している7つの加入団体の皆さんが一堂に集まっているところです。「かねやま産直ねっと」は、この皆さんが集まって話し合いができるようにとの考えから、平成24年2月に設立されました。各団体が連携することで一体的な取り組みを推進し、周年農業、6次産業化をより確実なものとして活動できるようにできた組織です。会員

の皆さんは小規模経営なので、少量多品種の野菜や漬物・加工品等を出荷していますが、なによりも地元で獲れる旬のものや新鮮でおいしいものを揃えているのが最高です。ぜひご利用いただきたいと思っています。

私は百姓になって50年くらいになりますが、今でもいろいろなことに取り組んでいます。稲作はもちろん、そのお米を使った餅加工、畑での野菜作り、鶏の手飼い、その中でできるモミガラ堆肥作り、そして暖房をとるための薪作りなど、自家の仕事をやっています。そんな中でできたものを産直で販売できることを知り、今まで仲間と取り組んでいるわけです。そして町や農協さんにもご協力をいただきながら、今までそしてこれからも続けられる産直でありたいと思っています。

「かねやま産直ねっと」はマルコの蔵前で「かねやま青空市」も行っています。これには町民の皆さんも自由に参加し、販売していただきたいと思っています。「かねやま産直ねっと」は会員もだんだん歳をとってくるわけなので、これから何年も続けられるわけではありませんが、今後も会員を増やし頑張っていきたいと思います。

12月定例議会は12月2日(火)～5日(金)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

◎発行責任者

議会 議長 栗田 保則

◎議会広報常任委員会

委員長 星川 智子

副委員長 中村 忠行

委員 大場 洋介

五十嵐 優一

宮林 聡志

発行◎山形県最上郡金山町議会

〒999-5402

山形県最上郡金山町大字

金山324番地1

TEL.0233-52-2111(内線300)

FAX.0233-52-2004



本号の写真

今年の異常な猛暑・少雨も10月に入りすっかり秋めいてきた。秋と言えば「スポーツ」「収穫」の秋。認定こども園「めぐたま」では、「大運動会」「稲刈り」が行われた。子どもたちの笑顔は宝物である。金山町が今後子どもたちの笑顔にあふれるよう願うものである。